

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ご利用者の安全の為との思いが、知らず知らずの内に身体拘束へと繋がってしまっていないか、身体拘束について理解すると共に全職員への周知が必要。	身体拘束についての正しい理解を介護職員へ周知徹底する。	身体拘束に対するマニュアルを作成し、全職員へ身体拘束について内部ミーティング時に研修を行う。	12ヶ月
2	2	緊急やむを得ない時、腰紐やベッド柵を用いた身体拘束を実施することがあるが、身体拘束を止めるための工夫が必要。	朝茶として「身体拘束をせずに介護を行うチェックリスト」を作成し、活用する。	身体拘束をやむを得ず行う場合は、生活パターンシートへその状態を記録すると共に身体拘束をせずに介護するために話し合いチェックリストを作成し、身体拘束をしない工夫を日常的に実施する。	12ヶ月
3	3	ご家族アンケートにおいて「権利擁護の説明不足」とのご指摘がありましたので、今後ご家族への説明を実施する。	ご家族へ権利擁護について説明を行い、ご理解をいただく。	次回の家族会等を活かして権利擁護についての資料を作成し、ご家族への説明を実施する。	6ヶ月